

## 7. 大阪府

月 日	時 間	活動内容
10月5日 (水)	13:15	伊丹空港着
	15:15 ~ 15:55	オリエンテーション
	16:00 ~ 16:30	大阪府庁表敬訪問 * 大阪府代表挨拶 * バーレーン代表者挨拶 * 記念品交換
	17:15	バス移動 大阪城見学 (車窓)
	19:00 ~ 21:00	夕食交流会 * 招へい青年自己紹介
10月6日 (木)	10:30 ~ 12:50 (10:30 ~ 12:00) (12:00 ~ 12:50)	大阪大学訪問 * 公共政策研究科 松野明久教授ゼミ生とディスカッション * 昼食 (大学内でディスカッション参加者と一緒に)
	13:30 ~ 15:30	万博記念公園、日本庭園
	16:30	ホテル着 夕食 (フリー)
10月7日 (金)	10:00 ~ 11:30	ダイキン ソリューションプラザ「フーハ」訪問 * 館長・副館長挨拶 (ギフト交換) * 湿度や気温の関係、生み出すストレスを体感 * エアコンの仕組みを理解
	12:15 ~ 13:45	昼食
	14:30 ~ 15:30	大阪市立阿倍野防災センター訪問 * 地震災害体験
	18:00 ~ 20:00	歓迎会 * 大阪府代表挨拶 * ラオス代表挨拶 * 実行委員長乾杯挨拶 * パフォーマンス ホームステイマッチング
10月8日 (土)		終日ホームステイ
10月9日 (日)	12:50	新大阪駅発 のぞみ226号
	15:23	東京駅着
	16:15	都市センターホテル着

台風の影響が心配される中、函館から無事外国青年たちを迎えることができました。

1日目は、大阪府庁の表敬訪問と交流夕食会でした。夕食時のリラックスした笑顔で打ち解けている様子を見て、安心しました。

二日目の大阪大学でのグローバルゼーションについてのディスカッションは、青年たちがそれぞれの国で自身が感じたことを発表し合い、多面的にグローバルゼーションについて議論ができました。異文化と接触した時の選択、つまり回避か融合かについての様々な意見が興味深かったです。その後はバスで20分程度のところにある万博記念公園を散策しました。当初は雨も心配されましたが、気持ちのいい快晴で、外国青年たちも存分に歩き回り、楽しめたと思います。日本庭園をととても気に入った様子でソフトクリームを手に興奮気味で写真を撮る青年たちの姿が印象的でした。

三日目、阿倍野市立防災センターで日本の地震について学んだあとの夜の歓迎会では、バーレーン、ラオス、日本それぞれの国の伝統芸能を披露したあと、青年たちが楽しみにしていたホストファミリーとのマッチングでした。対面の瞬間は、両者とも会いたかったという気持ちがあふれていて、心温まるものでした。「おおきに～」と言いながらホストファミリーと帰る青年たちが微笑ましかったです。無事青年たちがプログラムを終え、新幹線に乗れましたという報告を受けたとき、安心感と少し寂しさを覚えました。

実行委員長になった当初は、自分の経験不足のために不安になることが多々ありました。しかし、プログラムが始まると、目を輝かせて大阪を満喫しようという青年団と、一緒に楽しんでいました。やはり国際交流はすばらしいと改めて実感しました。

## ホストファミリー 中野 友里

今回10月7日より三日間、バーレーン王国の2名の青年のホームステイ受け入れをしました。

彼女たちは「郷に入れば郷に従え」ということわざではありませんが、積極的に分からないことは私に聞き、日本の風習・文化を勉強され、自国との違いを楽しまれていました。

ホストマザーとして、限られた時間の中で、よりたくさん日本の文化体験をしてみたいという彼女たちの希望を少しでもかなえてあげたく、二日目の早朝よりUSJに行き、レストランでの夕食後は華道・書道・ちりめんクラフト作成・折り紙・TVゲームと楽しい時間を一緒に過ごしました。そして、難波で食べたたこ焼きが美味しかったので、自分で作って食べてみたいという要望に応えるため、最終日の朝食メニューは「たこ焼き」にしました。朝食に「たこ焼き」はさすがに大阪人でも普段食べませんが「今日はスペシャルデイ」と皆で笑いながら食べてもらいました。

一番の思い出は、我が家族全員に民族衣装を着付けて、部屋・テーブルの装飾後に家族写真を撮ってくれたことです。私たち夫婦のために工夫を凝らしたすてきな演出とサプライズパーティーに感動し、私にとって夢のような忘れられない一日になりました。

彼女たちと出会い、自国の文化・風習・家族のことをお互いに話し合い、理解が深まることで、遠い国の彼女たちであっても、心と心はいつも近く深い絆で結ばれることを再発見しました。そして、彼女たちからたくさんのことを学ばせてもらいました。彼女たちと交わした約束「次回は、バーレーンの彼女たち宅に我が家族がホームステイすること」が実現する日を願い、より親睦が深まるよう語学の勉強を続けていきたいと思います。

今回、このプログラムに参加し貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。



大阪の空港に到着後、まず府庁を表敬訪問し、そこでオリエンテーションを受けた後、バーレーン代表がスピーチで大阪府の印象について述べ、府の代表者から府の概要説明と質疑応答がありました。最も興味深かったのは、大阪が産業とビジネスの中心であるというお話でした。夜はインド料理の歓迎夕食会があり、私たちは香辛料の効いた食事を堪能しました。二日目は、大阪大学国際公共政策研究科を訪問し、学生たちとグローバル化と世界の未来についてディスカッションに取り組みました。学生は日本、中国、ティモール、シリア、フィリピンの出身でした。参加者とのディスカッションを通じて、グローバル化の長所と短所を含め、多くを学びました。私たちは万博記念公園と日本庭園を訪れましたが、2時間ほどの短い滞在だったため、広い公園内を散策せず日本庭園のみ見学しました。庭園に足を踏み入れた途端、とても穏やかな気持ちになり、外の慌ただしい生活を忘れることができま

した。日本人が庭園で過ごすことを好むのはきっとこのためでしょう。三日目はダイキン・ソリューションプラザを訪問し、自国にはない新しい技術革新について理解を深めました。ダイキンは顧客のニーズと環境に基づいた製品づくりをしていました。大阪市立阿倍野防災センターでは、震災への対応策を学び、大阪で起きた最大級の地震を体験しました。夜の歓迎会では各国が文化パフォーマンスを披露し、ホストファミリーと顔合わせをしました。ホストファミリーと過ごした二日間は大変楽しかったです。私たちは電車に乗ったり、和食を食べたり、日本人の暮らしを見たりと、各家庭で様々な経験をしました。大阪の人々は大変親切で、知り合って間もない私たちを手厚くもてなしてくださったので、大阪に対して良い思い出ができ、忘れられない経験となりました。皆様の御尽力に心から感謝いたします。

ありがとうございました。



私たちは大阪府で多岐にわたる分野の様々な経験をしました。表敬先の大阪府庁では青少年・地域安全室長が、バーレーンとラオスから来た次世代を担う青年に会えたことを心から喜んでくださいました。

大阪府の実行委員会が、歓迎夕食会のレストラン候補を複数用意してくださったので、私たちはインド料理店を選び、香辛料の効いたハラル・フードをいただきました。ラオス団とバーレーン団は、自国を思い出させる食事を手配していただいたことに感謝しつつ、料理を堪能しました。私たちは大阪の人々が表現力豊かで世話好きなことに気付きました。バスの運転手から地元の人々まで、私たちが出会った人は皆、とても親切で気さくでした。彼らは私たちの異なる文化と考えを受け入れてくれました。

大阪で最も重要な訪問先の一つが大阪大学でした。シリア、オーストラリア、フィリピン、東ティモールなど様々な地域からの留学生と会う機会がありましたが、皆、英語が堪能で教養ある学生でした。日本の公式訪問先で通訳を介さずに英語でディスカッションとスピーチをしたのはこれが初めてでした。

私たちは大阪大学への訪問を通じて、海外留学と日本で学ぶための様々な機会に目を向けることができました。

その後、大阪大学の日本人学生や留学生と共に、万博記念公園と国立民族学博物館を訪れました。私たちは学生から、日本や大阪での経験、海外留学、大学院、日本政府と大使館からの奨学金などについて詳細に聞

くことができました。

また、ダイキン・ソリューションプラザと阿倍野防災センターへの訪問を通じて、日本の最新科学技術を学びました。私たちの国では地震などの自然災害はありませんが、世界の別の場所で災害に遭った時に役立つ対策を学びました。また、国民の命を守るために日本が高めてきた技術力に感銘を受けました。

最後に、私たちは最も重要な経験をしました。ほぼ二日間、家族の一員として日本人家庭に滞在する機会を頂いたことです。日本人家族に対する私たちの感じ方は様々でした。けれども、各自が経験した出来事は、どれも忘れられない思い出になったことで、全員の意見は一致しています。

私にとって、かずさん一家と過ごした時間が、自分の周囲に対する視野を広げてくれました。ゆりさんの優しさが、笑顔と純粹な心で一日を始める方法を教えてくれました。彼女は障害を持つ子供たちに工作やアートを教えていましたが、私は彼女の話に感銘を受け、自らも世界と自身のコミュニティを変えていこうという夢に目を向けることができました。かずさんの温かいおもてなしのおかげで、まるで自宅にいるようでした。私たちは言葉よりも身振りでコミュニケーションしましたが、そこから学んだことは、コミュニケーションは心から始まるということです。私にとって初めてのホームステイ体験でしたが、是非また経験したいです。この経験について知人に伝えたいです。

